

編集後記



●やませみ編集会議は不定期で、発行1～2ヶ月前に2、3回開催されています。
●編集委員のAさんが、「ところで、「人がたかる」と、唐突に言いました。●テレビのクイズ番組での出題。●編集委員一同腕を組んで、じっと考え込む。●『答えはね、集まるの「集」で、「集（たか）る」。「ま」が入ると、「集（あつ）まる」。「う」が続くと「集（つど）う」、ね、簡単そうで難しいでしょう』●そんな風に、教養も身につけられる編集会議です。（丸山）

やませみ

54

発行日/2009年1月1日
編集・発行/NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会
事務局/TEL042-974-1691（浅野正敏）
埼玉県飯能市柳町18-17

- 申し込み用紙や機関誌「やませみ」は「銀河堂」「Café豆さる」にあります。
- 「やませみ」へのご意見をお寄せください。投稿もお待ちしております。
URL=<http://www.tenranzan.com/>
E-mail=tenta@tenranzan.com

会員募集中!!

1995年2月、巨大住宅団地開発の計画がきっかけで発足した「NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会」は、この地の自然をいつまでもという思いで、様々な活動を続けています。どうぞあなたも会員になって活動を支えてください。

*年会費

●正会員……………普通会員 2,000円
……………特別会員10,000円

●賛助会員……………1口10,000円

*会費・カンパ送り先

郵便振替口座「NPO法人 天覧山・多峯主山の自然を守る会」00580-9-16342

やませみ 掲示板

トラストコンサート開催予定!

春に、東谷津田トラスト地の早期取得を願って「トラストコンサート」を開催する予定です!
天覧山・多峯主山周辺の自然を伝える映画を背景にした「W市川コンサート」他、盛り沢山の予定です。期日や場所など詳しい内容は後日広報しますので、楽しみに!

日よう日ふる里散歩

当会では天覧山周辺の自然に親しんでいただくために毎月「ふる里散歩」を開催しています。お気軽にご参加下さい。

◆1月1日（木）

「初日に祈る山歩き」の巻

集合/能仁寺山門前午前6時15分
問い合わせ/てんたの会 042-974-1691（浅野）
参加費/無料

◆2月8日（日）

「冬の里山でバードウォッチング」の巻

ガイド/内田康夫 駿河台大学名誉教授
集合/能仁寺山門前 午前9時半
持ち物/飲み物・お弁当
参加費/300円（小学生以下100円）

◆3月29日（日）

「谷津田の水辺づくりエコツアー」

昼食付き
集合/飯能駅改札口午前9時半
申込み要/先着15名
申込先/てんたの会 042-974-1691（浅野）
持ち物/飲み物・作業できる服装
参加費2000円（子ども500円）
※主催：てんたの会

★各回雨天は中止

共催/はんのう景観トラスト、（財）埼玉県生態系保護協会飯能名栗支部、はんのう市民環境会議（2月）

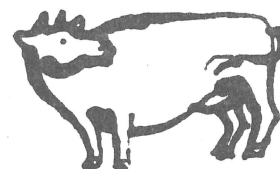
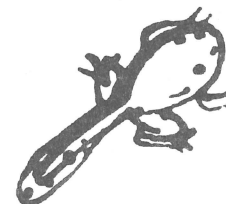


NPO法人 天覧山・多峯主山の自然を守る会 会報

No. 54

2009.1.1

やませみ

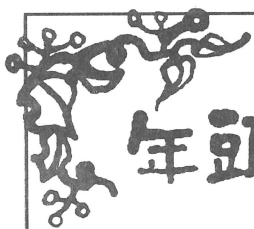


明け暮れの1年が
山の上から始まる。
鳥は天に輪を描き
葉の下で虫は暮れる
私の肺は大きく開き
めくる1年の再会も
すいこんでいる。

もくじ

- 年頭に寄せて・2008年てんたの会活動の記録/浅野正敏（てんたの会 代表）
- 天覧山・多峯主山の四季～冬を過ごす鳥たち/市川和男（財）日本生態系協会会員
- 第16回全国雑木林会議・飯能大会を終えて/大石 章（てんたの会 会員）
- 環境省モニタリング1000調査報告～100年後への贈り物～/黒住浩次（てんたの会 会員）
- 鳥獣図・てんた里山基金寄付のお願い
- 日よう日ふる里散歩のおしらせ●やませみ掲示板●編集後記

※当会のホームページへどうぞおいでください! <http://www.tenranzan.com/>



年頭によせて

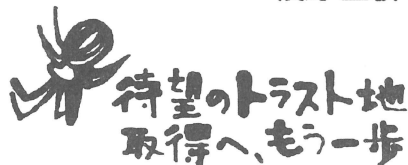
NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会 代表
浅野 正敏



エコツーリズム

昨年10月「第16回全国雑木林会議in飯能」が盛況の内に終了しましたが、「くらしと森林」について様々な視点から考え直す良い機会となりました。会議では「エコツーリズム」を大会の中心的事業とし、8つのエコツアーを開催しました。自然や歴史、文化にふれ、体験できるエコツアーは、地域で守り続けて行きたいものを参加者に再認識させてくれました。そして、この全国大会開催の直後、環境省が主催する全国エコツーリズムコンテストにおいて「第4回エコツーリズム大賞」を飯能市が受賞したと知りました。飯能市がエコツーリズム推進モデル地区に選定されてから4年、当会も含めて市内全地域での、市民のこれまでの取り組みが評価されたのですが、「全国雑木林会議」での総括的取り組みも良いPRの一つになったと自負しています。

なお、てんたの会の「谷津田の水辺づくりツアー」は、他では見られない自然環境再生のエコツアーであり、今後とも引き続き取り組んで行きたい事業だと考えています。



待望のトラスト地 取得へ、もう一歩

2007年1月より寄付を募り始めた「てんた里山基金」が、東谷津田（通称ほとけじょうの里）の買取り目標金額に近づいてきました。そこで、4月には東谷津田トラスト地の早期取得を目指す「トラストコンサート」も開催し、今年こそは買取りを実現したいと思います。天覧山・多峯主山周辺の「飯能・西武の森」を含む景観緑地については「市民と事業者、行政が共に考え、三者にとって良い森にしてゆこう」との基本合意のもとで話し合いが持たれています。今後、市の自然環境調査を踏まえた上で、本年度より本格的に手入れをしていく予定です。

こうした活動を通し、天覧山・多峯主山周辺の自然と関わり続けていくことが、山の保全に繋がる一番大きな力になると感じています。

2008年事業年表



- 1月 1日◇ふるさと散歩「初日に祈る山歩き」の巻◇やませみ51号発行
- 2月10日◇ふるさと散歩「冬の里山バードウォッチング」の巻※
- 3月25日◇（てんたの会元副代表）故谷口順子さんを偲ぶ会
30日◇ふるさと散歩「ホタルの里の水辺づくりエコツアー」の巻
- 4月 1日◇てんたトラスト予定地である東谷津を含む天覧山・多峯主山周辺97haが景観緑地に指定
13日◇ふるさと散歩「春の里山、山桜」の巻※
27日◇「天覧山谷津の里づくりプロジェクト・里山復活祭」へ協力
- 5月11日◇ふるさと散歩「新緑の中を歩こう」の巻※
8日・15日◇飯能第一小学校環境学習への協力
- 6月 6日◇やませみ52号発行
8日◇NPO法人てんたの会第2回総会&座談会
21日◇市民活動ネットワークを進める会「第1回 私の活動を語る会（浅野代表）」&座談会共催
29日◇ふるさと散歩「ほとけの夕べ」の巻
- 7月19日～20日◇飯能まつりにて出店（てんた里山基金寄付活動）
20日◇ふるさと散歩「国蝶オオムラサキを見よう」の巻※
31日◇「みどりと川の再生・埼玉フォーラム」関係団体交流会に展示
- 8月10日◇ふるさと散歩「名栗川を歩いてみよう」の巻※
21日◇美杉台公民企画「親子で環境学習」への協力
23日◇市民活動ネットワークを進める会「沖縄民謡コンサート」共催
28日◇埼玉県「みどりの埼玉づくり県民提案事業」補助金交付（天覧山周辺緑地調査・普及啓発事業）決定。
- 9月 1日◇国土緑化推進機構助成金（全国雑木林会議事業）決定。
14日◇ふるさと散歩「秋の風を感じよう」の巻※
29日◇双柳小学校の総合学習に協力
- 10月 1日◇やませみ53号発行
17日～19日◇「第16回全国雑木林会議in飯能」共催
18日◇ふるさと散歩「雑木林会議エコツアー」の巻 全国雑木林会議企画エコツアー事業として実施
21日◇第1回「飯能・西武の森」懇話会
- 11月 2日◇飯能まつりにて出店（てんた里山基金寄付活動）
8日◇ふるさと散歩「ホタルの里の水辺づくりエコツアー」の巻
23日◇「天覧山谷津の里づくりプロジェクト・里山復活祭」へ協力
- 12月 7日◇市民活動ネットワークを進める会「第2回 私の活動を語る会（あおーら代表）」&座談会共催
3日◇第2回「飯能・西武の森」懇話会
14日◇ふるさと散歩「里山のリースづくりエコツアー」の巻

●この他に、毎月2回の定例会兼理事会、やませみ編集会議、やませみ配布、ホームページ更新、天覧山谷津田&東谷津田の手入れ作業、モニタリング1000調査、景観緑地自然環境調査資料作成などを実施。

●全国雑木林会議実行委員会、はんのう市民環境会議、市民活動ネットワークを進める会への会議参加。表中の※印は、「はんのう市民環境会議」との共催事業。



冬を過ごす鳥たち



澄んだ青空の下、天覧山の西側の天覧入を歩いてみました。地面にはうっすらと霜が下り、落葉についた霜が宝石のように朝陽を浴びてキラキラと輝いています。谷戸を歩いてゆくと、アオジやベニマシコ、カシラダカが急に足元の草藪から飛び出し、近くの木立へと移ります。カシラダカは「チツ、チツ」と鳴きながら次々と草藪から飛び出し30羽程が冬枯れの木立に移ると、まるで枝に枯葉が付いているかのようにも見えます。遠ざかると、その枯葉は音もなく散るように、もとの草藪の中へと消えてゆきました。

谷戸の沢沿いを少し進むと、陽だまりからルリビタキの声が聞こえてきます。暖かな陽気に誘われ小声でさえずり始めたのです。鮮やかなブルーの姿を期待して、そっと双眼鏡を声のする方向へと向けてみましたが、目に入ったのは雌と同じ色の若い雄でした。更に谷戸を奥につめると、薄暗い樹林の湧き水の流れ落ちる斜面から「ジェツ、ジェツ」と声があると同時に、茶褐色の鳥が小走りに藪の中へと逃げ込みました。ヤマシギです。ヤマシギはシギの仲間ですが、落葉が豊富な照葉樹林の下で落葉の中のミミズなどを食べる山地棲のシギです。その場から後退してヤマシギの姿を木陰から待ちましたが、奥へと行ってしまったのか再び現れてはくれませんでした。諦めて引き返す谷戸の上空には青空をバックにマヒワの群れが舞い、カヤネズミの見えるスキ原ではスキの穂が風に揺られ白く逆光に輝いていました。

この地を越冬に訪れる野鳥は三〇種ほど見られ、年によって渡来する数や種類数にはバラツキがありますが、奥山に雪の多い年ほど多く見られます。コガラ、ゴジュウカラやキバシリ、オオアカゲラなど山地帯に棲息する鳥が天覧山の周辺で冬に見られることも少なくありません。

(財)日本生態系協会会員 市川和男

「奥武蔵鳥瞰図」
「てんた里山基金」にご協力ください。

パノラマ風景画家、友利宇景氏制作による「奥武蔵鳥瞰図」ができました。名栗湖を通って飯能市内を流れる名栗川と、巾着田に注ぐ高麗川の流れに挟まれて秩父へと続く山々が、飯能上空から一望するように描かれています。飯能の街のようすや、歩いた山の位置などをもう一度確かめてみませんか。

飯能市内の「めいわどう」(TEL042-972-2010)「宮脇書店」(TEL042-973-8254)などで販売しています。

郵送ご希望の方は10枚まで送料800円でお送りします。郵便振替での入金確認次第発送します。下記振り込み口座へ「鳥瞰図何枚希望」と明記の上ご送金ください。



てんた里山基金寄付として
1部1000円

(B2版/タテ728mm ×ヨコ515mm)
*寄付金はすべて当会の自然環境保全のための活動資金に充てられます。

「てんた里山基金」郵便振替口座
.....
名 称/NPO法人 天覧山・多峯
主山の自然を守る会
口座番号/00580-9-16342

「てんた里山基金」とは？

てんたの会では天覧山北東側にある谷津田「東やつ」を買収して、里山環境の保護活動を実践して行こうというナショナルトラスト運動を進めています。そのために「てんた里山基金」を設立しました。里山基金へのご寄付も受け付けております。お振込は上記へお願いいたします。



●環境省モニタリング1000調査報告

100年後への贈り物

100年前の天覧山周辺の、自然の様子を、明確に答えられる人がいるだろうか？ 私たちが調べようとしても資料は無く、スミレひとつ「確実にここに咲いていた」事を裏付ける確証は無い。

環境省モニタリング1000里地里山の調査地として、今後100年間、2107年までの息の長い調査が始まった。一つ一つの調査の記録は、100年後、200年後の自然を愛する人たちににとって「今の天覧山」の様子を伝える、とても素敵な贈り物となるはずだ。

植物の調査では毎回花のつぼみ、花、あるいは実を確認できたものだけ探して記録していく。少し歩いては立ち止まり、見つけたものを確認するため、図鑑にとらめっこをする。一箇所に10分20分と時間を掛けることもしばしばある。毎回同じコースを歩いての調査だが、飽きることが無い。何より新しい発見が毎回あることが驚きである。おそらくこの発見は、調査終了まで続くことだろう。目を凝らして、五感を研ぎ澄まし、自然の中ですぐす時間は、日常を忘れさせ、心身ともにリフレッシュしてくれる。同じように、チョウ・

カヤネズミ・カエル・ホタルの各調査スタッフが、この山での豊かな時間を楽しみ始めた。

100年間に及ぶこの調査をたとえれば、競争相手の無い駅伝レースのようなものかもしれない。第2走者、第3走者にたすきを渡さなければ、私たちだけではゴールできない。たすきを渡すそのときまで、1年でも長くこの山の自然を楽しみたいものだ。

(会員 黒住浩次)



カヤネズミの調査では、広いスキ原をくまなく探しました。



カヤネズミ調査の様子

エコツアー「歴史の残る街歩きと里山散策」での東谷津整備の説明

第16回全国雑木林会議 飯能大会を終えて



10月19日(日)午後3時、駿河台大学中庭で、第16回全国雑木林会議閉会式は、次回開催地に立候補した恐れを知らない鹿児島県での開催が承認されて(浅野委員長はまるでパパ抜きでパパを引かせた時のようにはしゃいでいました)いよいよ終了です。周りを見回すと、この数ヶ月ですっかり顔なじみになった面々が満足そうな表情を浮かべています。何年も忘れていた感情が胸の奥からわき起こるのを感じ、「みんなよくやったなあ」という言葉が口について出ました。

1年ほど前、やはり怖いもの知らずの浅野代表が石見銀山大会に参加して飯能開催が承認されてしまったのが随分昔のようです。浅野、鶴田、岡部、久下の四役を中心に、雪だるまのように膨れあがる実行委員(最終68人)や協力団体が一致協力し、会議は延べ参加者989名(史上最高)という大成功を収めました。てんたの会は、18日にエコツアー「歴史の残る街歩きと里山散策」を行いました。遠く北

海道や三重県などから9名の参加があり、まず飯能織物協同組合、復元された店蔵「絹甚」などの街中の歴史的建造物を見てから、天覧山東谷津へ着くと、湯気が立ち昇りムカゴご飯や豚汁のいい香り。おなかいっぱいになった後は、水路とため池整備に汗を流し、アンケート結果も好評でした。

翌19日の分科会「里山保全とナショナルトラスト」では、私がパネラーで出演し、てんたの会の活動報告を行いました。30名以上の参加があり、狭山丘陵、おおたかの森、飯能河原、天覧山などの里山保全活動の経験交流ができました。

会議で得られたものは、実行委員会や交流会を通じて全国とのネットワークができたことと、この成功によって飯能の人々に生まれた自信と連帯ではないかと思えます。会議の全貌をお知りになりたい方は、近々まとまる報告書(1000円)を是非購入してください。

(会員・大石 章)